

厚生文教委員会報告書

令和3年12月17日

備前市議会議長 守井秀龍 殿

委員長 中西裕康

令和3年12月17日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	少数意見
議案第120号 備前市教育集会所の指定管理者の指定について	原案可決	なし
議案第121号 備前市日生温水プールの指定管理者の指定について	原案可決	なし

<所管事務調査>

- 備人と自然が響き合う「シンフォニック・オアシス」「八塔寺青少年文化・スポーツプラザ」(仮称)構想(案)について
- 部活動の廃部について
- 部活動の地域移行について
- 高1クライシスへの対応について
- 井田跡調査事業の進捗状況について
- 第70回備前市えびす駅伝競走大会について
- 人工芝化について

<報告事項>

- 備前市文化財保存活用地域計画認定の経過について(文化振興課)
- 成人式の実施について(社会教育課)
- 中学生だっぴの延期開催決定について(社会教育課)
- スケートボード場整備事業について(社会教育課)
- 学校施設遊器具の緊急修繕について(教育プロジェクト推進課)

《 委員会記録目次 》

招集日時・出席委員等	1
開会	2
議案第120号の審査	2
議案第121号の審査	3
報告事項	4
所管事務調査	11
閉会	23

厚生文教委員会記録

招集日時	令和3年12月17日（金）	午前9時30分		
開議・閉議	午前9時30分	開会 ～	午前11時26分	閉会
場所・形態	委員会室	会期中（第6回定例会）の開催		
出席委員	委員長	中西裕康	副委員長	西上徳一
	委員	星野和也		立川 茂
		森本洋子		山本 成
		青山孝樹		藪内 靖
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	守井秀龍		
傍聴者	議員	なし		
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
説明員	教育長	松畑熙一	教育部長	石原史章
	教育プロジェクト 推進課長	草加浩一	小中一貫教育課長	岩井典昭
	幼児教育課長	竹林幸作	文化振興課長	畑下昌代
	社会教育課長 兼 公民館活動課長	波多野靖成		
審査記録	次のとおり			

午前9時30分 開会

○中西委員長 皆さん、おはようございます。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

本日は教育部関係の議案審査、所管事務調査を行います。

***** 議案第120号の審査 *****

それでは、議案第120号備前市教育集会所の指定管理者の指定について、議案書36ページをお開きください。

質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○青山委員 市内にはこの4か所だけになるのでしょうか。

○波多野社会教育課長 市内にこの4か所でございます。

○青山委員 管理料は支払ってもらえるのでしょうか。お幾らぐらいなのかというのも分かれば教えてください。

○波多野社会教育課長 指定管理料は支払っておりません。平成16年度からこのような形で地元指定管理ということにしておりまして、10万円までの軽易な修理は地元が準公民館として使うからということで指定管理をしていただいております。10万円を超えるような大きな躯体の修理については、その都度私ども社会教育課と協議の上という形にしております。

○立川委員 建物の建築後年数はどのぐらいたっておるのでしょうか。

○波多野社会教育課長 建物は全て40年以上経過しているものでございます。

○立川委員 築後40年ということで、木造、モルタル、その辺はどうなんでしょうか。

○波多野社会教育課長 一番古いもので1967年、昭和42年のものは木造でございます。そのほかのものは、周りはモルタルでございますが、耐震機能等はないものでございます。

○立川委員 そうしますと、施設の再編計画、個別計画はどういう位置づけになっておられるのでしょうか。

○波多野社会教育課長 地元指定管理をしていただいているもので、耐震機能がないということもございまして、方針としては地元譲渡というものを見据えた上で交渉していくということでございます。

○立川委員 そのめどはどのぐらいに置いておられるんですか。今回3年の指定期間ということで出ておるんですが。もう40年以上の建物で、これ以上あまり言いたくないですけど、どういうタイムスケジュールとまで言いませんけど、教えてください。

○波多野社会教育課長 今回も指定管理の指定に当たりましては、それぞれ地元と先ほど委員おっしゃられたような譲渡も含めた交渉をしまいましたが、今回は引き取るまでには至らないということでした。この管理期間が3年ということで、次までにも交渉を進めてまいり、もしも地元が要らないというような結論に達しましたら、順次取壊しを検討していくとい

た形になろうと思います。

○中西委員長 ほかにはございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終了してもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第120号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第120号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第120号の審査を終わります。

***** 議案第121号の審査 *****

続きまして、議案第121号備前市日生温水プールの指定管理者の指定について、議案書39ページをお開きください。

議案第121号についての質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○星野委員 備前市日生温水プールの指定管理については、ここ数年ヘルスパとの一体管理の可能性も含めて考えて、指定管理期間を1年間としてきていたと思うんですが、ここで5年とした理由というのは何かあるんでしょうか。

○波多野社会教育課長 体力づくり協会からいただいたときに、同じようなことを検討され、一体的なということで、期間が短かったというようなことも聞いておりますが、昨年度、温浴施設の復活ということで、保健福祉部の管轄である温浴施設を今年4月1日契約で事業所のほうに指定管理にお出ししているということがございまして、今のところ市のほうでは温浴施設とプールを切り離してという方針でプールだけ5年にさせていただいたものでございます。

○藪内委員 プールのボイラーの調子はどんなでしょうか。

○波多野社会教育課長 ボイラーが譲り受けた頃から度々不調になるというようなことで、部分的修理を重ねてきたという経緯はございます。現在は不調でなく、プールの営業も無事行っておりますが、やはり建物自体が平成3年建築で、30年たっておりますので、全体的な改修も視野に入れ、その中でもボイラーというのは一番大切なものと認識しておりますので、今後計画的に改善していく予定でございます。

○藪内委員 今回指定の期間が5年間ということで、その間には部分的な簡単な修理で済んでいたものが、多分大規模な改修が入るんじゃないかとは思いますが、設備、機械全てを含めて。そういう大規模なことが発生したときは、やはり市の負担でしょうか。

○波多野社会教育課長 軽微な修繕につきましては、指定管理者のほうで直していきませんが、先ほど委員おっしゃられたボイラーをはじめ建物の躯体的な大きい修繕は市のほうで行っていくよ

うにいたします。

○中西委員長 ほかにはございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、質疑を終了してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

これより議案第121号を採決いたします。

本案は原案のとおり決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、議案第121号は原案のとおり可決されました。

以上で議案第121号の審査を終わります。

***** 報告事項 *****

それでは、所管事務調査に先立ち、執行部から報告事項をお受けいたします。

順次報告をお願いいたします。

○畑下文化振興課長 文化振興課から備前市文化財保存活用地域計画認定の経過について報告いたします。

前回、7月26日に認定に向けたスケジュールを出しておりましたが、その後の経過について報告します。

令和3年7月26日から8月25日までパブリックコメントを行っておりました。パブリックコメントの結果については、ホームページに掲載しております。その後、令和3年11月9日に文化庁の調査官が現地視察にいられました。それから、11月16日、岡山県を経由して認定の申請をしております。それから、本日、12月17日なんですけど、今日文化財の分科会で審査の後、認定が決定しました市町と関係都道府県にメールで報告になると思います。今日の夕方ぐらいの発表になりますので、認定かどうかというのはこの夕方に分かると思います。

○波多野社会教育課長 それでは、社会教育課から3点御報告をいたします。

まず1点目、成人式の実施についてでございます。成人式の実施につきましては、こちらの資料にありますように、市民センターホールで令和4年1月9日に実施いたします。去年は新型コロナがまだ猛威を振るっておりまして、岡山県がステージ3、あるいは4になるかもしれない医療逼迫状況でありましたが、和気町、備前市、瀬戸内市と実施いたしまして、挨拶や祝辞をされる方も絞りまして実施をいたしましたが、今回は議員の皆さんも壇上で新型コロナ対策を引き続き行いながら、例年どおりの成人式を行う予定としておりますので、後日案内状をお出しいたします。

先日、全県下の調査が行われまして、今のところ全県下とも予定どおり成人式は実施するといつう中で、岡山市のみ可否を来週もう一度発表するといったような報道もございました。

今、新成人に対して出席の予定者をウェブのアンケートで取っておりますが、出席者につきましては、本年4月から9月まで実施いたしました新型コロナウイルスの抗原検査キットを全員に送付いたしまして、前日、当日にその検査キットを使って検査していただいて、出席をしていただきたいということと呼びかけております。来場者の方が安心して参加できるよう配慮した上で、成人式を実施したいと思っております。新成人は10月1日現在で287人でございます。

続きまして、中学生だっぴ、次代の備前を担う若者と大人とのトークイベントへの御協力についてのお願いという文書を配付させていただいております。8月の末に議員の皆さんにも御案内しておりましたが、新型コロナの緊急事態宣言で中止となりましたが、各中学校とその後にも交渉を続けまして、1月の末から2月にかけて実施することになりました。委員さんもどうぞまた御参加いただければ幸いです。

ウェブで申込みただくか、議会事務局経由で私どものほうに御連絡いただいても結構でございます。

今のところ実施日時の1月27日、2月9日、2月14日とございますが、2番の吉永中学校、それから3番の伊里中学校、備前中学校との合同開催のほうはまだまだ人数が要するというようなことを聞いておりますので、御参加いただける方がおられましたら、どうぞよろしく願いいたします。

それから3点目でございます。本審議につきましては、来週火曜日の予算決算審査委員会ということに当然なりますけども、皆様方に今回提案しておりますスケートボード場整備事業の計画位置図を配付させていただいております。

場所は日生町寒河380の39番地、3,279平米でございます。

買取り単価は同じ浜山干拓地ということで、県のほうが公募しております平米8,000円で、計2,543万2,000円ということでございます。

今回の経緯につきましては、一般質問で市長のほうから答えていただいたという中で、まずは前回否決あるいは反対意見の中にありました駐車場の最大の確保、それから初心者と熟練者の危険防止の配慮といったものを中心に選定をさせていただいたものでございます。

こちらの整備につきましては、駐車場も十分取れ、それから初心者がただ地面を滑るだけというようなことも十分取れるような土地のほうでございます。

また、このスケートボード場に配置するアイテムの製品につきましては、メーカーの製品につきましては、担保がつきまして、もし事故があっても対人5億円、対物2,000万円の保険にも入っているものでございます。

スケボー場のもともとのアイテムにつきましては、前回と同じ初心者向けの5つのコースを用意して、その周りを十分に初心者から乗れるような形にしたいと思っております。

○草加教育プロジェクト推進課長 教育プロジェクト推進課から1点報告させていただきます。

学校施設遊器具の緊急修繕についてであります。これまで御報告してきたとおり、10月に

岡山市で発生した遊具での事故を受け、同様の事故が懸念される遊具について、11月4日から緊急修繕を行っていましたが、12月10日に完了し、竣工を確認しましたので、御報告いたします。

また、これとは別に通常分の修繕にも着手しており、年度末までには完了いたします。

以上、簡単ではございますが、報告させていただきます。よろしくお願いいたします。

○中西委員長 報告は以上でよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、備前市文化財保存活用地域計画について、質疑のある方の発言を許可いたします。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、だっぴについて。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

成人式の実施についてもよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

スケートボード場の整備事業についてはいかがでしょうか。

○星野委員 今回、用地買収の費用が予算化されていますが、今回のように県有地を買収する際の手順であるとか手続について、どのような形を取るのかお教えいただければと思います。

○波多野社会教育課長 まず予算については、これも県のほうと話をしまして、現状では公にこの辺りの浜山干拓地を売りに出している金額がということで、予算化させていただきました。さらに、この後、同じ干拓地につきまして、予算がつきまして売買の交渉に入る際に、今度は県のほうが売却に当たって不動産鑑定士によりまず鑑定を行っていただいて、鑑定の結果を我々に提示していただくこととなります。それによって購入価格が落ちるといような可能性もあるのではないかと思います。その鑑定を私どものほうでよく精査、吟味して交渉に入らせていただきまして、県のほうと交渉がつきましたら、私どもが買い取るといったような手順を考えております。

○星野委員 この買収について県と交渉することはできるものなんでしょうか。一般質問でも市長のやり取りでは、そのようなことはできないような発言をされたので、ちょっとそこら辺をお教えください。

○波多野社会教育課長 何も資料なくして、この値をもう少し下げてくださいという交渉はできないかとは思いますが、先ほど申し上げた土地のきちんとした鑑定を出していただいた上で、最終的な値を決定いたしますので、それが交渉と言えるかどうかは何とも申し上げられませんが、それを見て、例えば今より条件が悪い場合、また思ったより条件がよかったというような場合もあろうかと思えます。それで最終的な値段の決定に至るということでございます。

○星野委員 この土地について、市としてはどのぐらいの情報を持っておられるんでしょうか。

以前、県が民間企業への売却を行った際に、ちょっといろいろもめたようなケースもあったというふうにお聞きしているんですが、そのあたりの情報等も見られているのでしょうか。

○波多野社会教育課長 私どももここが埋立地であるということと、それから同じような干拓地で不調に終わったというような話も聞いておりますので、ちょっとこの場で公にはできませんが、今までの購買の経緯については、県のほうからお聞きはしております。

○星野委員 この土地について、県では土壌汚染等、あと埋設物が埋まっているというふうなこともお聞きしているんですが、そのあたり調査は行われているのでしょうか。そのあたりの情報は市としてつかんでおられるのでしょうか。

○波多野社会教育課長 調査は行ったとお聞きしております。

○星野委員 その情報は市のほうにはある程度入ってきているものなんでしょうか。

○波多野社会教育課長 県の担当からこれを予算化するに当たって、このようなことがということでお聞きはしております。

○星野委員 今後、この予算が通って用地買収に移っていく際に、県としてはそのあたりのところは考慮していただけるものなんでしょうか。そこは全く考慮していただかず、同じような埋立地である浜山の工業団地と同じ金額のままなんでしょうか。

○波多野社会教育課長 そこから先はこれからの交渉によりますが、最初に申し上げたように、あくまでも不動産の鑑定をいただいてからという形になろうかと思えます。

○立川委員 今お話を聞いておまして、安全が担保されるかどうかというところですね。土壌汚染、懸念があるよというお話は聞いているよ、私もつかんでいますよ、それはそれでこの場では詳しくは言えないと思えますけど、経緯等々についても。要はこういうスケートボード場を整備するに当たって、市が購入して設備をする、その際の土壌をひっくるめて安全性が担保されているかというところが大きな問題だろうと思えます。安全性が欠けるのであれば、さっきお話の中にありましたけど、アウトレット価格が出てきたりするというのが通常市場取引の中では行われるんですが、そういう安全性の担保は大丈夫ですか、いかがですか。

○波多野社会教育課長 浜山全体が埋立地であるということは、周知の事実であります。そこに大きな建物の建築物を建てるのであれば、それ相当なボーリング調査が必要かというふうには思いますが、今回はスケートボード場として一部をコンクリート加工した、建築物というよりも、練習場でございます。周りにつきましても、砂利等を敷き詰めた駐車場をと考えておりますので、地盤あるいは中に埋まっているものについての安全性は確保できると思っております。

○立川委員 1. 8平米以下ですから、建物じゃなくて構築物になろうかと思うんですけども、課長のほうが安全だろうと思えますということなんで、今の御意見出たように、あの土地にはいささかいろいろございましたということは、先ほど課長のほうからもありました。

今後、鑑定を行うということなんで、鑑定の項目をぜひともきっちり確認をいただいて、今懸念があるように、何が入っているか分からないよというふうな土壌では、やはりちょっと市が買

って今後どうするかということについても、懸念があるでしょうし、そこら辺をしっかりと確認をいただいた上で、ゴーならゴー、お値段もプライスダウンするならプライスダウンするという方向でぜひともこの点だけは外さないようお願いしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

○波多野社会教育課長 もちろん、懸念される部分につきましては、まずその鑑定の項目のほうから予算がもし通りましたら、県のほうと逐次確認した上で鑑定を進めていただくようにしたいと思います。

○中西委員長 ほかにはございませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

あと遊具の点検についてはどうですか。

○立川委員 大変御苦労さまです。教育委員会さん所管の遊具の修理点検は完了したという御報告があったんですが、子育て支援課さんの所管は全く知らないよというスタンスでいいんでしょうか。

といいますのは、私の家の目の前に遊園地があるんですが、長い間トラロープと鎖で全部禁止と、そういったところは全く別で子育て支援課さんのほうにお話をせないかんといいところですか。

○草加教育プロジェクト推進課長 所管によって縦割りという御指摘は、本当に受け止めさせていただきます。今回御報告をしましたのは、教育委員会教育プロジェクト所管の小学校、中学校についてのものがございます。

○竹林幼児教育課長 補足ですけども、幼児教育課分、保育園、こども園関係ですけども、こちらと同時に緊急修繕を実施しております。こちらのほうはまだ完了はしておりませんが、年内にはおおむねこども園関係等完了する予定ではなっております。

○立川委員 結局、教育委員会さんの所管しておられる中学校、小学校、こども園、幼稚園、保育園のあたりはほぼ年内に済むよということで、学区内での安全は担保されているというのは今確認取れましたけど、さっき草加課長におっしゃっていただいたように、そこで遊んでいる子供たちが今度は自宅に帰れば、そういう施設に行くんですよね。ぜひとも部長のお力で子育て支援課さん、その他にもしっかりとお願いをしないと、子供たちを守るという観点からすれば、学区内では守れるでしょうけど、私たちの責任は終わりましたと。ところが、その子供たちが地域に帰ったりするわけですから、その辺のいわゆる連絡といいますか、何とかせえよとか、そういうお話は全く教育委員会のほうではされないんですか。地区へ帰ったときの子供たちの手当て、その辺の見解はどうですか。

○石原教育部長 先ほどの御指摘のとおりであるかと思えます。今回も岡山市での不幸な事故がございました。その直後、部長間での情報共有、それから今後の対応については、それぞれの所管ということにはなっておりますけれども、同じ子供たちの目線で考えていく、委員からの今御指摘があったような形で連携を図っていこうという形では進めさせていただいているところで

ざいます。

○立川委員 ぜひとも子供たちを守るということは、学区内ではそれはここらでしょうけど、一たび学校を出れば地域で遊ぶわけですから、これ委員長にお願いしときたいんですけど、今回予算には上がっていませんでしたね、子育て支援課さんのほうは。保守、修繕するんですよということは、まだ今度後ですよという受け止めですよ、我々としたら。教育委員会さんは、予算的にはどこからどういう処理をされたんでしょう。

○草加教育プロジェクト推進課長 予算につきましては、夏の通常点検、またそれを受けて不具合につきましては、年度内に修繕をするための予算をあらかじめいただいておりました。その分の一部を緊急的に発注して、今回その頭部が挟まった案件については解消でき、残りの塗装の不良であったり、ブランコの座面の交換、ささくれだったり、そういったものは年度内に完了するよう進めております。

○立川委員 ということは、大変失礼な言い方ですけど、大規模改修ではなくて、賄えたよというところの解釈でよろしいんですか、そういう整備であったと。例えば何百万円、何千万円かかるのではなくて、当初予算に上げておられた修理やとか点検料を流用することで賄えたよという判断でいいんですか。

○草加教育プロジェクト推進課長 あらかじめ今年度の修繕対応としていただいているものの範囲で実施ができております。

○西上副委員長 聞きょうりますと、岡山市で御不幸があつて、こういった遊具点検、非常に徹底してやったということで、それはええんですけれど、私どもの東鶴山小学校では、30年ほど前に回旋塔が倒れてその鉄柱が子供の顔面に直撃で即死になったというような痛ましいことがあつて、これは風化させちゃいけないと、このように思っておるんですけれども、この事件は我々備前市にとって当事者なわけで、これはもっともっとやらないといけないと思うんですけど、教育委員会のほうではどのように思っておられてやっておられるのか、いま一度お願いいたします。

○石原教育部長 まさに今副委員長からお話がありましたとおりであると私どもは受け止めております。決して風化させてはいけない、その考え方、そのときの対応も含めて今に脈々と我々としても受け継いでできていると自負をしているところでございます。そういった観点からも、今回の岡山市の件を受けまして、できる限り速やかにという思いで携わってきているところでございます。決して先ほど委員さんおっしゃっていただきました過去の案件につきましては、脈々と職員の中で受け継いでできております。

○西上副委員長 脈々ということで、今後ともぜひ風化させないようによろしくお願いいたします。

○青山委員 元に戻るようなんですけど、スケートボード場の件なんですけど、土地のこと、それから施設のことは大体分かりましたけど、使用上の注意とか、そういったようなものというのは、今のところどのようなお考えでしょうか。

○波多野社会教育課長 使用上の注意につきましては、前回説明したこととほぼ変わらないんですけども、中学生以下の方につきましては、利用登録をいただくということで、保護者の署名を持った利用登録書を出していただきます。また、小学生につきましては、親子同伴で使用するというような規定にするつもりでおります。その場合、許可証をシール等でお渡ししてヘルメットとかに貼っていただいた上で、利用していただく予定にしております。

それから、注意事項としましては、やはりスケートボードは転ぶものでありますので、ヘルメット着用とそれからできるだけヘルメットだけでなく、エルボーパットとか、ニーパットとか、リストガードやグローブなどのプロテクターの的なものはめた上で利用していただきたいというような注意をさせていただきたいと思います。あくまでも、知らない人が入りたい放題ではなくて、利用に当たっては、利用者の登録を義務づける予定にしております。

○青山委員 一般的などこのスケートボード場でもそういうふうな看板が出ていたりしていると思うんですけど、その辺の管理といいますか、例えば巡回をするとか、以前はシャワールーム等で鍵の貸し借りをするとかというようなこともあったんですけど、その辺についてはどのように考えられていますか。

○波多野社会教育課長 日生運動公園の職員に巡回をしてもらおう予定にしております。それから、鍵も朝開けて夕方閉めると、ナイター、夜の使用はなしというところで考えております。

○青山委員 ナイターの使用、冬場と夏場で大分変わると思うんですけど、何時頃とかというふうな基準というのは設けられるんですか、何時から何時までとか。

○波多野社会教育課長 今のところ日没までというつもりでおりますが、限定的に18時まで、それから17時までというようなところまでは今考えが至っておりません。照明施設がありませんので、基本的には日没までとしたいと思っております。

○青山委員 ぜひそういった使用上のところにもしっかり目を向けていただけたらと思います。よろしくお願いします。

○藪内委員 私もスケートボード場についてなんですが、各施設ですね、5種類ありますけれども、保証期間が2年間ということなんですが、2年を過ぎたときはどうなさいますか。

○波多野社会教育課長 もしも不具合がありましたら、製造元に来てもらう予定にしておりますが、この2年が過ぎましたら、ランニングコストとして定期点検の実施を考えております。

○藪内委員 その場合、保険は継続されますか。

○波多野社会教育課長 保険については2年ということで、今業者から説明を受けたばかりでございまして、例えば施設賠償保険に切り替える、あるいは業者の保険に引き続き継続するというのを視野に入れて、私どもとしては補償の大きさと安全性とすぐ来ていただけるというような条件のいいほうに加入するというようなことを考えております。

○藪内委員 やはり私は指導者がいたほうが安全面でも技術的にもいいと思うんですけど、やはり指導者はなしですか。

○波多野社会教育課長 予算が通りまして、建設のほうもできまして、いざオープンというときに何もしないでオープンということは考えておらず、教室的なものを定期的開催してと、そちらのほうには指導者がついていただく予定にしております。また、毎日指導者に常駐していただくというわけにはいかないと思いますが、施設の職員やそれから私ども市の職員もその教室に参加した上で、最低限の知識は身につけた上で開園に当たりたいと思っております。

○藪内委員 いろいろなことを想定して、防犯カメラを設置するというようなことは考えられていませんか。

○波多野社会教育課長 現予算では防犯カメラまで至ってはおりませんが、来年度に繰り越して夏頃には完成するのではないかなと思っておりますので、その際には検討したいと思います。

○藪内委員 スケートボードの特性からして、大いに事故が想定されますので、私はこの防犯カメラは必須だと思います。

それと、前回提出されたときから、施設のメーカーであるとか、種類は変更されていますか。

○波多野社会教育課長 スケートボードのアイテムについては、同じ日本スケートボード連盟会員のメーカーで変わりはありません。あとは敷地の広さの整備等について、前回より予算がかかっているということがございます。

○藪内委員 施設の数は増えましたか。

○波多野社会教育課長 いえ、こちらの写真にございます施設は5つであります。ちょっと配置は変えております。

○中西委員長 よろしいですか。

報告事項全般で何か質疑ありますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、所管事務調査に当たりまして、教育長の入室がありますので、暫時休憩いたします。

午前10時15分 休憩

午前10時29分 再開

○中西委員長 委員会を再開いたします。

***** 所管事務調査 *****

所管事務調査を行います。

人と自然が響き合うシンフォニック・オアシス、八塔寺青少年文化スポーツプラザ（仮称）構想案について、教育長より御報告いただきます。

○松畑教育長 最初に、本委員会の皆様の教育行政について、大変慎重に熱心に議論いただきましてありがとうございます。モニターで聞かせてもらっておりました。

それでは、この八塔寺青少年文化スポーツプラザ構想案につきまして、概略の説明をさせていただきます。

本件は、基本的には以前皆さんに御承知いただいております備前市まるごと大学校という大きな構想の中で、まちじゅうどこでも図書館、あるいはコミュニティースポーツプラザ構想、それからコミュニティーアートプラザ構想、その全体の中に位置づけられたもので、特に独立したものではありません。文化とスポーツの面を八塔寺でぜひ青少年を中心に市民の重要な活動の場を提供するものであります。11月4日に八塔寺に訪問いたしました。一日かけて吉永総合支所の支所長をはじめ3名の人と教育委員会の中心メンバーで訪問して、ずっと検討してまいりました。それから、11月19日の教育委員会会議でこの構想を発表いたしましたとき、青山委員は傍聴されておりまして、聞いていただきましたので、そこで今回の議会での質問にもしていただきましたので、概略のお答えをさせていただいたところであります。

そこに資料がありますので、簡単にかいつまんで説明させていただきます。

八塔寺地区は本当に素晴らしい自然に恵まれて、この地区をやはりアウトドアスポーツを中心にしながら、文化面とか、いろんな面で中心的な大きな地域になるなという思いがしてきて、そこに書いておりますように、文化面、スポーツ面、スポーツといたら教育スポーツだけじゃなくて、アウトドアスポーツも中心にしながらウォーキングの心理学とか、いろいろな面を重視したものとして行いたい。最近ワーケーションとかグランピングだとか、ソロキャンプとか、グリーンツーリズムとか、そういうようなものも考えていきたい。

施設といたしましては、そこにございますように、いろいろ館内、野外、関連施設などいろいろございますが、当面は現存しております施設をうまく活用するということを大前提として、そのうち必要な施設があれば、皆さんと理解いただけるようなものであれば、新しく新設することも将来は考えたいと思いますが、当面は現存している施設をうまく活用してということでございます。

それから、使用活動例をそこに示していますように、やはりこの地区は特にゆっくりと自然の中で活動し、楽しむということを中心にしたので、スローライフというのがキーワードになると考えておりまして、現存しております望ヶ丘キャンプ場、ふるさと村とかふるさと会館などですね、農業体験なども含めて、それから星空観察を、これも美星町以上に美しい星空を観察できる場所であるという専らの評判ですので、もう少しこれを大々的に取り上げるようなことができたならなあ。

それから最後に、アウトドアスポーツフェスティバルですね、これをできたら5月の末頃に実施して、例えばクロスカントリーだとか、オリエンテーリングとか、そういうアウトドアスポーツの中心的なものを開催して、この辺も一つのアウトドアスポーツのメッカに八塔寺地区をすることができたらなあという思いで計画をしているところです。

なお、これは11月19日、教育委員会にお示しをいたしました資料でございます。それ以降にさらにいろいろな面から検討しておりますので、この地区の活用方法といたしましての一つの案としては、イングリッシュビレッジというものをここにまだお示しはしておりませんので、口

頭ですけれども、イングリッシュビレッジを海の部と山の部を考えて、イングリッシュビレッジというのは、英語で生活する、英語で全ての日ですね、朝から寝るまで、あるいは宿泊を伴って、全てを英語で生活をしていくというものです。それを英語村、あるいはイングリッシュビレッジというのが、もう世界的に有名ですが、その海の部と山の部、山の部をこの八塔寺を中心に、国際ヴィラなどもございますので、そういうものを生かして行くことも一つの選択肢と考えております。

大体基本的な内容といたしての概要は以上であります。御理解いただきまして、何か御質問などございましたらお答えしたいと思います。よろしく願いいたします。

○**中西委員長** それでは、委員の皆さんの質疑の発言を許可いたします。

○**青山委員** 説明ありがとうございました。一般質問のときにも丁寧な回答をいただきましてありがとうございました。

お聞きしたいのが、かなりの人数が参加する、例えば学校単位で研修するとかというふうなことになると思うんですけど、この際の食事はどうお考えでしょうか、食事を取る場所とか方法について教えてください。

○**松畑教育長** 当面は望ヶ丘キャンプ場付設のレストランなどございますね。あるいはそういうふうなところで取るということが当面は中心になり、あるいはふるさと村、ふるさと館などで、あるいは国際ヴィラなどでということになると思いますが、もう少し充実したら早めに食堂などは新たな新設を考えなきゃいけないかなあと思っております。あるいはキャンピングなどで自炊するということもあり得るんですけどね。食事関係は大きなポイントですので、今後検討を進めていきたいと思っております。

○**青山委員** ちょっと私も研究不足で申し訳ないんですけど、望ヶ丘レストランとか、それからふるさと館については、どのくらいの収容人数といたしますか、キャパがあるんでしょうか。

○**松畑教育長** 私たちも10人ぐらいで前回、11月4日にそこで食事したんですけど、望ヶ丘キャンプ場のレストランだけでは30人前後ぐらいが普通だろうかなあと。それ以外の施設については、ちょっと私は承知しておりませんが、その程度ですので、とてもじゃないけど、大人数が来たらどうするかというのは、今後大きな問題になると思っております。

○**青山委員** 私も行かせていただいて、望ヶ丘レストランで食事もいただきました。それから、ふるさと館については、地域おこし協力隊の方がそこで食事をやりたいんだというふうなことをおっしゃられておりましたけど、何か望ヶ丘レストランとの共用とか、そういったようなところで、今まだストップがかかっているんだというようなことをお聞きしたいんですけど、それでも50名入るか入らんかということろだと思うんです。ですから、その辺の方法、弁当にするとか、先ほど言われた野外炊事をするとかということもお考えいただいたらと思うんですが。

それから、開催の時期につきましては、今頃も、あしたも何か雪がちらほらしそうというふうなことを天気予報でも申していましたが、あそこはかなり標高の高い、しかもかなり急な坂

道を上がっていくということで、凍結あるいは積雪等で入れる期間が限られてくるんじゃないかと思うんですけど、その辺については今まで、いつからいつぐらいまで使用できていたか、御存じだったら教えていただきたいと思うんですけど。

○波多野社会教育課長 まず、この構想案の一番下にありますアウトドアスポーツフェスティバルを行うといたしましたら、暑くもなく寒くもなくじゃないですけども、ちょうど学校行事の何とか合間といいますか、5月の末というのが第一候補であります。それから、八塔寺の特産品とかをどんどんPRしていくということに関しましては、ブドウとか梨とか芋なんかは秋になりますので、イベントを行うといたしましたら、春、秋になろうかと思えます。それから、通常1年間を通していろんな催しをしていくということにつきましては、さっき委員さんおっしゃられたように、冬場についてはかなり急坂を上っていきますので、チェーン着用、あるいはスタッドレスタイヤを履かなくてはいけないというような時期は、私どもがイベントを打つのは不適かということをおもっておりますので、やはり4月から11月の終わり等までに初年度の企画はやっていければと考えております。

○青山委員 こちらがやるイベントについては、いいとは思いますが、例えばいろんな民間の方、施設等々も協力でやられるというような形になると思うんですけど、あそこのふるさと館もレストランがあったり、そば打ちでそばを食べさせたりとか、次々とやめられているというふうな状況ですし、手前の八塔寺ダムのところのレストランも廃止になり、その後の喫茶店も今閉まっているという状況です。そういったようなところの継続した運営、あるいは連携ができないといけないと思うんですけど、そのようなことについては何か考えられていることはありますでしょうか。

○松畑教育長 御指摘のとおりだと思います。八塔寺地区だけじゃなくて、人口減といいますか、やはりだんだんとその地域全体がにぎわいを失いつつある、それをいかににぎわいを生み出していったって、レストラン、その他が営業再開、あるいはさらに新しいものができるような、そういう施設をどんどん造れるような方向で検討したいと。だから、大きなきっかけとして、このアウトドアスポーツフェスティバルを立てて、できたら時期にもよるんですけども、農業の作物などを、果物や農産物、その他、たくさん栽培されているのが直販売したり、そういうようなところもいろいろ活用しながら、にぎわいを創出していきたいと考えております。

○青山委員 ありがとうございます。八塔寺は、本当にアウトドアスポーツにはもってこいの場所だと思いますし、利活用をしっかりと、地域のにぎわいにもつながったかなと思います。一般質問でも最後に申しましたように、一過性にならないような配慮といいますか、計画を立てただけだとは思いますが。これは意見です。

○森本委員 構想を見せていただいて、全てできれば、素晴らしいことだなとは思いますが。

何点かお尋ねしたいと思うんですけど、今のところ見えているのは、一番下に書いてありますアウトドアスポーツフェスティバルということが一番形としては見えていると思うんですけど

も、この運営母体設立への準備を進めるということなんですけど、いつぐらいをめどにされているんですか。

○波多野社会教育課長 予算を伴うものですから、この費用につきましては、令和4年度当初予算で計上をさせていただき予定にしておりますが、この構想自体はこのまま進めていくものでありますので、まずは地元の区長さんと話をし、それからスポーツ協会の吉永支部とも連携を取りまして、年明けから構想に向けて進めていきたいなと思っております。我々だけではできないものですから、クロスカントリーもオリエンテーリングも多くの人に立っていただくような形になり、その方々にもPRになるということで、年明けから話を進めてまいりたいと思います。

○森本委員 ということは、運営母体の設立ということなんで、運営されるのは区長会なり、いろいろな団体の方が入って、一つの運営母体でいろいろなこういう書かれている項目のことを全て取り組んでいくという方式で考えとけばいいんですかね。

○波多野社会教育課長 ちょっと私の答弁で誤解があったと思います。先ほど1月からというのは、このアウトドアスポーツフェスティバルの実施に向けての実行委員会を年明けから考えていきたいということで、大きな運営母体はまた大きな運営母体として別に設置していく形になるのかと思います。

○森本委員 イングリッシュビレッジのことを言われたんですけど、山の部が八塔寺でしたら、海の部はどこでされますか。

○松畑教育長 そういう質問がありましたので、候補地として申し上げます。現在検討いたしましたのは、大多府島であります。すばらしい船が運航されていますし、それから私たちも中心メンバー5人ほどで先日島に行ってみましたけど、トヨタカローラの研修センターの立派なのがあるんですね。そこには50人ぐらい宿泊できます。そこを借りれば簡単にできますので、候補地としてはすばらしいなと、今のところは思っています。これはあくまで今候補地として検討しているところでありまして。そのぐらいに今のところは収めさせていただきます。

○森本委員 構想がすごく大きいのであれなんですけれども、スケジュールなり、ロードマップなり、いろんなことは考えておられるんでしょうか。

○松畑教育長 当面は、来年度については当初予算でも提出して御理解をいただくということの上でありますけれども、方針といたしましては、小・中の生徒などを中心に山の部、海の部で1回ずつは行いたいと。どちらかで1か所は宿泊研修も伴ったような形で行って、ちゃんとネイティブスピーカーや、英語の教員や、いろいろボランティアのスタッフや、我々教育委員会のメンバーや、そういうようなものが総動員で本当に子供たちの英語力を育てるような、そういう計画を現在目下、鋭意検討準備中であります。

○森本委員 また時期も含めて具体的なことが決まったら、一度お示しいただけたらと思うんですけど、いかがでしょうか。

○松畑教育長 そのように考えておりますので、できるだけ早期に当初予算の前の委員会ぐらい

のときにはできたら大まかな概略を説明ができたかと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

○**星野委員** この構想なんです、市民のみならず、観光客に来ていただくということで、連携が必須の観光協会ですね、昨日の総務産業委員会の話をお聞きしたんですが、八塔寺にありますふるさと館の指定管理について、指定管理先として内定を出していたものを取りやめて、直営にするという方針に決まったということで、市と観光協会がちょっとぎくしゃくしているという話が昨日出たと伺っているんですが、そのあたりの市じゃなくて、教育委員会と観光協会の関係を今後どのように築いていくか、何か考えがあればお教えいただきたいと思います。

○**石原教育部長** 教育委員会といたしましても、星野委員さんに御提案いただきましたように、教育委員会のみだけでは、当然こういったイベント等を進めていく上でもなし得ないと思っております、地元をはじめ様々な団体様に御協力をいただかなければならないと思っておりますので、その一つとしても努めてまいりたいと考えております。

○**星野委員** 現時点で事業化しようとしているのが、アウトドアスポーツフェスティバルというのですが、現在市のほうで包括協定を結んでいるモンベルさんと連携しているのは何か考えられているのでしょうか。

○**波多野社会教育課長** 連携協定を結んでいるモンベルさんは、もちろんアウトドアグッズであるとか、いろんなアウトドアイベントに詳しく、特にアウトドア用品とかの説明とかもできるというようなことでございます。スケジュールが合う合わないというのはございますが、この構想については逐次連携を取りながら進めていくような形にしたいと思っております。

○**藪内委員** すばらしいアイデアありがとうございます。本当に全部すばらしくって、特に私はイングリッシュビレッジと星空を見るやつですね、以前文化振興課長と少しお話ししましたが、先日もニュースで皇室の方が来られて、大変報道でもされていました。そのように、あちらよりもまだ八塔寺のほう条件がいいんで、ぜひこの星空ということをどんどんどんどん進めていただいて、あとイングリッシュですね。それで、食事の施設は何回もいろんな経験をもう既にしているんで、大きなものとはせず、今あるもので下の三国小学校とかも使って、協力いただいて、ミニマムでやられたほうが、大きく大きくすると、また続けていただける方を探さないといけないので、そういうふうな感じでどんどん進めていただきたいと思います。これ要望だけです。お願いします。

○**松畑教育長** ありがとうございます。御説明いただいておりますように、自然の豊かな中でイングリッシュビレッジは星空も含めて、学校ではどうしても生活の場から離れやすいので、具体的な生活は食事のところから遊びから星空観察から、朝起きたときから英語をきちんと、生きた英語を学んでいくような、遊びながらも英語で遊び、英語でコミュニケーションを図っていくと。それはすごく重要なことなんで、御指摘のように小さく産んで大きく育てるつもりでやっていますので、ぜひこれからはどんどん大きく育てるための計画も逐次提案していきたいと思ひます。

よろしく願いいたします。

○**西上副委員長** 6番のスポーツアカデミーの開設をというようなことなんですけれども、これには指導員、補助員、ボランティア等ということで、パラスポーツ関係のほうは教育長、やられるんですか、どうなんですか。

○**松畑教育長** 御指摘のように、今多様化している社会の中で、スポーツ面でいいましたらパラスポーツ面も含めた形でのスポーツでなければ、これからの社会の中では認識されていかないと、評価されていかないと思っていますので、よく御指摘のように、委員が要望されていると思われるような形に進めていきたいと考えております。

○**西上副委員長** パラスポーツは、もっと我々の身近になるようなスポーツとして、またこちらもそのような施設、対応ができるような、参加できるような格好でぜひ進めていってほしいと思いますが、いかがでしょうか。

○**松畑教育長** 本当にいろんな面から、同時に進めることは難しいにしても、やはりできるだけ早い時期に全ての市民が八塔寺を重要なアウトドアスポーツを中心にした文化面も含んでメッカになり、にぎわいを創設し、産業も少しずつ前進していけるような、パラスポーツも前進して、みんなで元気で幸せな市民生活を送っていけるような形でぜひ努力したいと思いますので、またいろいろお知恵をよろしく提供いただきたいと思います。

○**立川委員** 今お聞きをして、構想的には大体飲み込めたんですが、一番気になったのは、先ほども出ておりましたが、地元の各種団体、現在活動しておられる団体ですね、これの合意形成が欠かせないというお話だったんですが、一例を申し上げますと、星空にしても、地元が星を見る会ということで、御存じだと思いますが、ずっと活動しておられました。資金にもちょっと供与して協力させていただいた経緯もあるんですが、望遠鏡村がございますよね。すごい高い望遠鏡村ということで、ああいうところの団体、三国の小学校も英田サーキットがライダーの巣になっていますよね。簡易宿泊ができたりというようなところで、それぞれにやっておられると思いますので、くれぐれも競合するところは、さっきおっしゃったようにつながりだけでいただけたらと思います。イングリッシュビレッジのところもいいんですけど、せっかく海洋学習ということでこの前うみラボができておりますので、しっかりお使いいただいて、お互いに行けるようにぜひお願いしたいと思うんですけど、私もちょっと議場で申し上げましたけど、やっぱり横のつながりですね、教育委員会さんだけが走るということだと、さっきもちょっとお話が出たんですけど、あっ教育委員会が走るんやからほっとけやと、させとけやでは困るんで、観光課も頑張る、それから地域おこしも頑張る、観光協会さんあたりもこれ直営にしますからこれしてくださいよと言われたら、協力したくてもできないということも生まれてきますので、あるものをしっかりと利用して、そういうところからできて進めていただけたら非常にありがたいなと思うんですけど、いかがでしょうか。

○**松畑教育長** 全く立川委員の御提案に賛成であります。やはり全てスポーツだけじゃないです

けれども、本当に備前市にはすばらしいグループ、資産、活動、いろいろがあるんだけど、どうも横のつながりが、それぞれは頑張っておられても、もう一つ、1足す1が2や3になっていかないという、そういう状況をどう横のつながりを出して頑張っていくのかということは、非常に重要だと思います。例えば今例で挙げられました旧三国小学校、神根小学校にも私たちは訪問して、こういうところで何ができるか、子供たちが本当に小さい神根小学校なんかでは、いろいろな子供が頑張っている姿、あるいは三国小学校では英田サーキットの施設、合宿施設のようなものもございます。そういうところの中心メンバーとも話をしてきましたので、今後ともいろんな団体と協力をし合いながらウィン・ウィン、相乗効果でそれぞれの団体が発展していけるような、それから観光協会についても、御指摘のほかの方もございましたように、やはり協力し合わない、同じ小さな備前市内の団体でありますので、直営になるにしろ、何になるにしろ、それぞれが納得できるような形で皆さんが協力体制を組んでいくというのが私は最も充実したい方向性でありますので、そのつながりを深め、それぞれの活動が生きてくるようなつながりをさらに創出できるような努力をしてみたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○立川委員 ぜひお願いしたいと思います。

大変これも失礼な言い方なんですけど、ここにいらっしゃる市の職員さん、執行部さん、そうおっしゃるんです、部署を超えて横のつながりをと。議場を一步出る。委員会室を一步出たら、何か飛んじゃうんですよね。何を言うとんや、わしはここやと。これは職員さんのさがとまでは言いませんけど、やむを得ない部分もありますので、それはやはり外からの力で何とか教育長に期待をいたしておりますが、ぜひぶち破って進めていただけたらと思うんですが、いかがでしょう。

○松畑教育長 そういうふうに期待されていると私も自覚しております。よそから来たよさをフルに活用して、大学教育を中心に英語教育、ICT教育ももちろんのこと、そういう廉塾という、私は地域のリーダーの養成塾のようなものを十数年やっておりますし、地域とのつながりというのは一番重要視してきたつもりです。ですから、外から今本当に備前市だけじゃなくて、行政というのは本当に縦割りであり、本当に自分たちだけのことしか考えにくいような体制をみんなで作っているようなところがあるんで、それは少しずつ壊したいと思っているし、横串を刺し、連携しながら、教育委員会だけじゃなくて、市長部局とも図書館構想でもそうですし、このスポーツ構想でもそうですし、全ての面で新たな展開をしたいと、これは必ず新たなことをやろうとすると、抵抗があるのは承知しております。それをできるのは、私ぐらいの年齢と経験がある者しかできないと思っていますので、それには議員の皆さんの御協力もぜひ必要ですので、この場を借りましてよろしくお願いいたします。

○中西委員長 ほかにはございませんか。

定例会中の委員会ですし、教育長も出席をしておられますので、皆さんのほうからテーマがあれば質疑をしていただいて結構ですけど。

○**青山委員** 部活動のことなんですが、日生中学校のアーチェリー部が廃部になるとお聞きしました。電話一本で地元のスポーツ団体、これは総合型地域スポーツクラブ、オレンジクラブというのがありますけど、そこの代表の方にも連絡があったということなんですけど、その廃部にする理由とか現状を分かれば教えてください。

○**松畑教育長** 私も具体的な話は聞いておりますが、より具体的にお答えできるのは、教育部長ですので、よろしくをお願いします。

○**石原教育部長** 教育委員会のほうでも学校に確認を取りまして、現状把握を行っているところでございます。来春に入学される新1年生から新たに新入部員の募集を行わないような御説明を保護者会のほうにも言っているように伺っているところでございます。

現在の1年生、2年生は卒業するまでは、部としては当然存続をいたしますけれども、そのような形で進めていくと伺っているところでございます。

それから、地域で活動されておられますオレンジクラブさん、現在指導に当たってくださる方、協会のほうからも来てくださっている方もいらっしゃいます。オレンジクラブでも御指導いただいているということも伺っております。現在の部活動といたしましては、学校がある平日に関しては、指導者の方は土曜日か日曜日ということに限定をされていらっしゃるようですので、なかなかの専門の指導者というのが平日に指導を受けることができない中で、平日の活動というのがいわゆる基礎体力の向上、筋力トレーニング等に今限定されているという中で、なかなか競技自体の技術力の向上についての活動には至っていないというようなところから、生徒たちのモチベーションの維持にも大変苦慮しているというような現状も伺っているところでございます。

そのほかにも細かい点まで含めると、いろいろな課題はあるやに聞いております。しかしながら、昨日今日始まった現状でもございませんで、地域での活動というものも、国体競技を受けられてから現在に至っているものと理解をしておりますので、そういった中で子供たちがその競技をきちんと適切に受けられるように、希望すればそういう形で競技を続けられるような仕組みづくり、体制に向けて教育委員会としても注視していこうと考えているところでございます。

○**青山委員** そういう説明が十分保護者、生徒、それから地域ですね、総合型のオレンジクラブでありますとか、あるいはアーチェリー協会のほうからも1名、専門の方が指導に来てくださっていると。そういったようなところにも説明をし、一番大事なのは、やはり好きでアーチェリーをやりたいという子供がまだ大勢いるとお聞きしています。学校要覧を見ても、19名ほど所属しておりますし、日生中学校の部活動では一番多人数の部じゃないかなと思うんですけど、その辺の子供たちが学校からも切り離されたときに、土日はいいんですけど、ウィークデーに何もすることがなくなって、ますます競技力の向上が難しくなったり、あるいは部活がないためにエネルギーを持って余らせていろんなことに走るというふうなことも考えられます。中学校の部活動の難しいのは、指導者が必ずしも専門の指導者が全部の部につけるわけでもない。転勤によって専門の部活動の方が来られて、ぐっと盛り上がったところが衰退するというところもあると思いま

す。やっぱり学校側の方法として、外部の指導者との協力を密にするとか、あるいは技術や体力をつける、そういう方法を工夫するとかやっていただきたいと思います。

今後どう地域に説明とかされるようなおつもりですか。

○石原教育部長 ありがとうございます。一番教育委員会としても望んでいることに関しましては、委員さんおっしゃっていただいたように、子供たち主体での目線、考え方になろうかと思えます。主体が部活動から地域に移っていく流れというのも、現状この日生中学校に限らず、そのアーチェリー部に限らず、市内でも縮小化、少子化の中で合同活動と、他校との合同活動を経て廃部に至っている経緯というのがあります。全国的にも国のほうでもそういうような地域への移行という流れもある中で、なかなか非常に苦慮している課題というの、学校現場としてあると理解をしております。ポイントとしましては、子供たち、保護者の方に混乱がないような形での移行というものがスムーズに行われる、それが最良、最善ではなかろうかと思っておりますので、できる限りそういう形で進んでいくように努めてまいりたいと思います。

○青山委員 最後にしますけど、19名という部員がおられて、その後、オレンジクラブとかで小学校からアーチェリーを経験した子供さんが次々入ってくる。そういう状況の中で、いきなり廃部ということで納得もされてないんじゃないかと思うんですけど、そういう調査もしっかりやっていただいて、納得のいくような方法を取っていただきたいと思います。

特に今現状の部員が満足、専門の人に教えてもらうほうがいいのは当然なんでしょうけど、満足ができてない状況があるのかどうなのか、そういったようなこともよく聞いていただいて対応していただけたらと思うんですけど。

○石原教育部長 現状を含めまして、それから今後の対応等につきましても、委員さんおっしゃられますように、子供たち主体という目線で調査も行い、できる限り望ましい形というのに進んでいくように努めていきたいと思えます。ありがとうございます。

○星野委員 同じ件から言わせてもらいます。日生のアーチェリー部に限らず、生徒数の減少によって部活動がどんどん減ってきています。伊里中につきましても、来年度のサッカー部の募集が停止となっております。ここで質問させていただきたいのが、来年度、部員の募集を停止する学校は何校で何部になるのか、お教えいただければと思います。

○石原教育部長 現在全ての学校での正確な調査というものを把握し切れている状況ではございませんので、改めて確認を取りまして、委員会でも報告させていただけたらと思うので、お願いします。

○星野委員 先ほども話が出ていましたが、部活動の地域移行について文科省は2024年までと期限を定めていると思うんですが、備前市では現在どのあたりまで進んでいるのでしょうか。

○波多野社会教育課長 私は地域で移行される側のほうなんですけども、地域で受け入れられる素地があるのかどうかというようなアンケートは、まず各スポーツ協会の先ほど星野委員おっしゃられた部活がある団体に向けてアンケート実施はしたいとは思っております。今のところ、私

どももどういふふうに入受けていいのかというのが定まていないのは、私どももそれは単なるボランティアの域は超えているというふうに入認しておてまして、その部活を休日に地域に移行するだけで、じゃあその指導者の方の補償やお礼といったものを学校の部であるなら、学校が支払うのか、それか受け入れた社会体育のほうでそういう方々の補償を持たなければいけないのかというのが全く今ない状態で、口約束で移行してくださいね、じゃあ受入れ態勢についても考えますといった程度だと思てます。まず、私どもの社会体育のほうでは、どれだけ受け入れる素地があるのかといったことの入把握に入努めていきたいと思ておてます。

○**星野委員** 地域移行となると、これまで必要なかった入会金であるとか、月の会費、月謝がかかってくる、スポーツをやりたくても費用面で諦めざるを得ない制度も出てくると思てんです。そのあたりも十分考慮して、地域移行に移っていただきたいと思てます。何か意見があれば。

○**波多野社会教育課長** 先ほどの話じゃないですけど、もう指導者がいないので、完全に地域にお任せしたいというよな学校もあれば、逆に私が入知っている先生の中で、土曜日でも日曜日でも、もしも地域の方が子供の面倒を見ていただけるなら、私も出ますと、子供がお世話になつてんでというよな熱心な先生が入いらっしゃるのも事実かと思てます。そういう方も指針によりますと、地域に移行したら、学校の仕事としてではなくて、地域の指導者として先生が入関わるよなになるというよな形になると思ておてますので、地域だけでなく、当然平素の子供たちが学校でどのよな様子なのか、どういふ性格で人との関わりにおいてどうなのかというのを瞬時に土日、祝日だけで判断しろというのは、地域のほうも無理だと思てますので、やはり学校の担任の先生なり、今までやってきた先生と引き続きの連携を取ること、これが一番と私は思ておてります。

○**中西委員長** ほかに入は。

○**星野委員** 児童・生徒数の減少という観点から質問させていただきます。当面、現行の学校数を維持するということで、備前市の場合、保育園、こども園からほとんど環境が変わらないことで、小1プロブレム、中1ギャップの件数は少なくても済むかもしれませんが、高校に入ってからと環境が変わることで高1クライシスに入陥る生徒が増えるんじゃないかと懸念するんですが、そこへの教育委員会としてどのよなに関わっていくのか、対応していくのか、考えがあればお教えください。

○**松畑教育長** 御指摘のとおり、こども園、幼児教育から小学校、小から中、中から高と、その接続教育が非常に重要であるという認識をしておてまして、それを御指摘のよなには私は高校の場合入もうちょっとプラスの言葉を使わないと、クライシスというの入ちょっと厳し過ぎるので、プラスの言葉を使って高1ジャンプという言い方をして入ます。新たな言葉です。まだこれが県の教育部長に入言つても「ないんじゃ」というて言うから、ほんならプラスの言葉で、義務教育から高校教育に入ジャンプしていく、それをうまくジャンプしていくにはどうしたらいいかということを入教育委員会としても考えていきたいと、そういう発想でありまして、接続教育に対する人材

もぜひ教育委員会としても、市としても考えていけるような体制を今検討中であります。

○**星野委員** 次に、今事業として取り組んでいる水路改修に伴う井田跡の調査事業、現状進捗状況とか報告できるものがあればお教えいただきたいと思いますが。

○**畑下文化振興課長** 水路改修による井田跡の調査なんですけど、一応水路改修に伴うところについての調査は行って、どのような形で水路をするかというものは、県の振興局等と協議しております。

それから、その水路につきまして、一番、250号から見えるところの井田の石垣につきましては、もともと昔から残っているものなので、それについてはうちのほうで調査して残していくために今測量をかけているところです。

○**星野委員** この調査の終了というのはいつになるんでしょうか。

○**畑下文化振興課長** 報告書ができるまででしたら、3年間補助の目的でもらっていますので、報告書ができるまでには今年、来年、再来年、6年度にそこの部分の報告書はできると思います。

○**西上副委員長** 第70回備前市駅伝競走大会のところの開催時間が午前11時30分、これは受付開始ですか、走る時間かなというところをお願いいたします。

○**波多野社会教育課長** えびす駅伝につきましては、今回、短いコースで選手が走る時間を完全通行止めを実施した上で行うこととなっております。この時間というのは、一般の方の受付時間、それから開会式につきましては、いま一度1月の中下旬の新型コロナの情勢を見て判断したいと思いますが、9時半から中学生が走って、その間通行止めをして、そこから約1時間半ほどまた車を流した上で、一般の方に来ていただき、開会式をするといたしましたら、一般のほうの開会式に合わせた時間と御解釈いただけたらと思います。

○**西上副委員長** ということは、走り出すというたら、12時過ぎてから12時頃、ここから1時間後ぐらいですかね。

○**波多野社会教育課長** 中学生の部が9時30分、一般を12時発で考えております。ただ、今までのような20キロのコースではなく、一般も14キロのコースですので、遅くとも13時20分頃には全チームゴールしていると思っております。

○**西上副委員長** 13時20分頃といったら、前回の長い20キロコースのときも同じですか、大体。

○**波多野社会教育課長** 遅いチームで、20キロでありましたら、2時間近く、11時にスタートして13時を超えるといったようなことだったとは思いますが、約15分ほどフィニッシュが遅いと思っていただけたらと思います。ただし、フィニッシュ後の集計時間につきましては、鶴海方面には行きませんので、あと6区間を5区間に縮め、電子計測をそのうち4区間取りますから、終わってから解散するまでの時間は今までより早いと思います。13時30分には解散できるのではと今考えております。

○**星野委員** 人工芝についてなんですが、一般質問で日生の多目的広場を人工芝化できないかという質問をした際に、できない理由の一つとして、人工芝にまかされているゴムチップを子供、幼児が誤飲する危険性があると市長は述べられたんですが、実際問題として日本国内でどれぐらい誤飲事故というのが起こっているのか、今日多分すぐには回答はできないと思うんですけど、そういう事例があるのかないのかを、またお教えいただければと思います。後日でいいです。

○**波多野社会教育課長** 今の星野委員の御質問ですが、この件につきましては、大手体育施設メーカーのほうに問い合わせた回答をいただいたものであります。全国でどんな例があるかというところまでは集計しておりませんが、そのためサッカーとかにつきましては、プレーするところとそれから見るところを完全に区切ったようなことで、幼児が遊ばないように工夫しているというのを大手のメーカーさんからお聞きいたしました。具体的事故例については、ちょっと今後聞いてみたいと思います。

○**星野委員** 現在サッカーのフィールドにゴムチップをまいているところが多いんですが、まかなくていい人工芝というのも現在開発されているみたいなんです。今回は多目的広場をどうにかできないかという質問だったんですが、今後違う施設を人工芝化する可能性もあるんじゃないかと思いますので、そのあたりも少し研究していただければと思います。よろしくをお願いします。

○**中西委員長** ほかにほごさいませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、所管事務調査をこれで終わりますけども、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

以上で厚生文教委員会を閉会いたします。

皆さん、どうも御苦労さまでした。

午前11時26分 閉会